

富山県農業経営承継セミナー資料

**「後継者（若者）を集落営農組織に
呼び込む仕組みづくり」**

令和5年12月22日



グリーン近江農業協同組合

はじめに



イメージキャラクター
よりどりちゃん・みどりちゃん



自己紹介

- 1979年 群馬県高崎市生まれ【44歳】
- 1998年 鳥取大学農学部進学
- 2004年 鳥取大学大学院卒業後、神奈川県に本社がある土木会社就職
- 2007年 JAグリーン近江へ入組（転職）

【JA入組後】

- ① 2007年 営農事業部 ガイドライン、営農指導係等担当
- ② 2008年 東近江市水田農業活性化協議会（再生協議会）出向
- ③ 2012年 大規模農家・集落営農向け渉外（T A C）担当
 «38の集落営農法人の設立を支援、6件のGAP認証を支援»
- ④ 2021年 営農振興課 課長補佐 農政連、集落営農、青年部等担当

- ・ ASIAGAP指導員
- ・ GLOBALGAP内部監査員

JAグリーン近江の概要



イメージキャラクター
よりどりちゃん・みどりちゃん



名 称 グリーン近江農業協同組合

設 立 平成6年（1994年）10月1日

JAグリーン近江は、平成6年10月1日当時に滋賀県の東近江地域（2市7町）の内、2市6町に存在した9JA（JA安土町・JA老蘇・JA近江八幡・JA日野町・JA大中の湖・JA八日市市・JA永源寺・JA五個荘・JA能登川）が合併し、県下最大規模を誇る大型合併JAとして発足しました。

代表者 代表理事組合長 大林 茂松

組合員数 23,641名（令和5年8月末現在）（うち 正組合員8,139名、准組合員15,502名）

出資金 44億2千万円

役職数 理事27名 監事5名 職員462名（うち 正職員381名 臨時職員等81名）

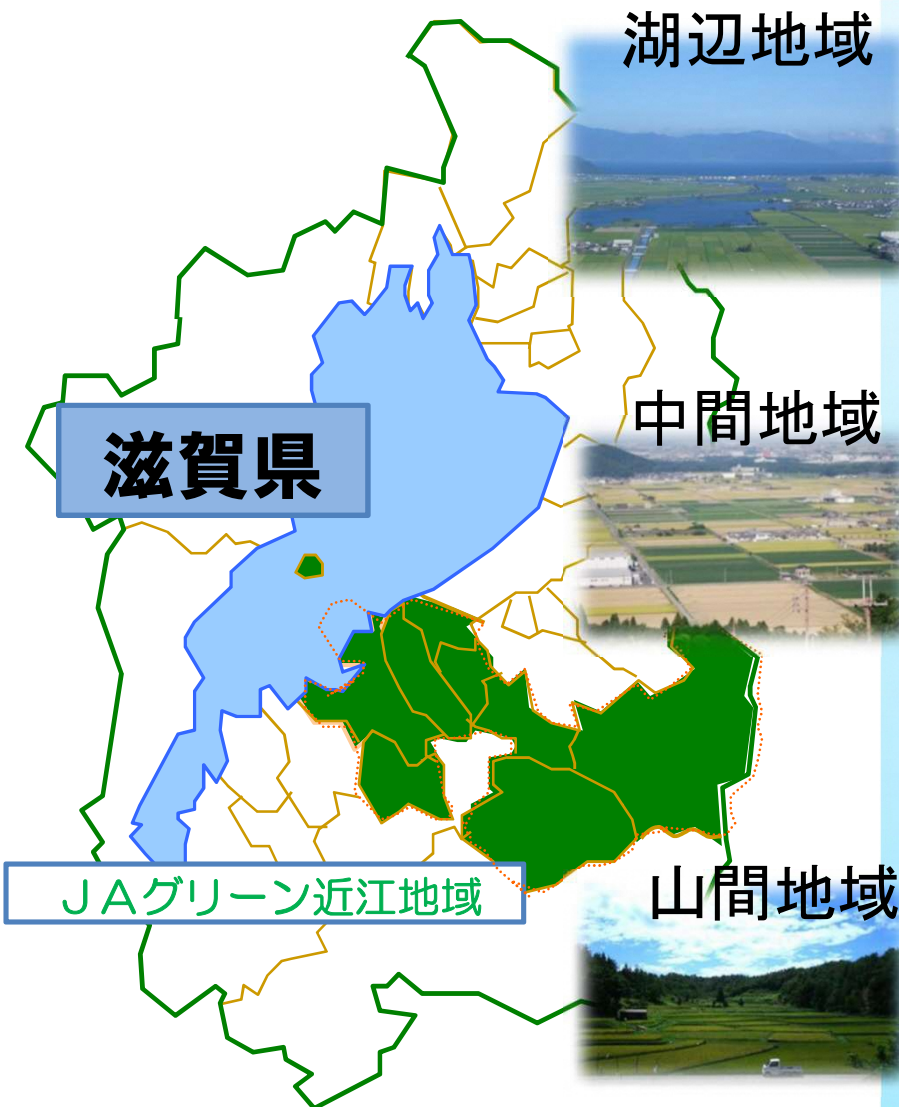
耕地面積 全耕地面積…13,500ha（うち 田地面積…12,760ha、畑地面積…740ha）

施 設 本店（1）／支店（10）／出張所（4）／営農振興センター（6）／ファーマーズマーケット（1）／介護サービスセンター（1）／ガス事業所（1）／メモリアルホール（3）／年金相談センター（1）／ローンセンター（1）／育苗センター（2）／CE・RC（9）／農産物加工場（日野菜）（1）／その他農業関連施設／

JAグリーン近江の概要



イメージキャラクター
よりどりちゃん・みどりちゃん



湖辺地域

近江八幡市、旧能登川町、旧五個荘町の地域

特徴

大中の湖干拓地を中心に平地が広がり、米・麦・大豆の土地利用型農業や露地野菜などの栽培が盛んであり、大規模認定農業者や集落営農法人が多数育成されています。近江牛の産地。

中間地域

旧八日市市、竜王町の地域

特徴

過去から集落営農による農業に取り組まれている地域で、集落営農法人が多数設立されている。竜王町地域では、近江牛や果樹の生産も盛んです。旧八日市市地域では、国営土地改良事業が進められており、野菜の産地化に取り組んでいます。

山間地域

日野町、旧永源寺町の地域

特徴

比較的冷涼な気象条件で、当管内でも米の品質や食味が良好な地域です。一部では、集落営農法人が組織されていますが、個人担い手による営農が盛んな地域。

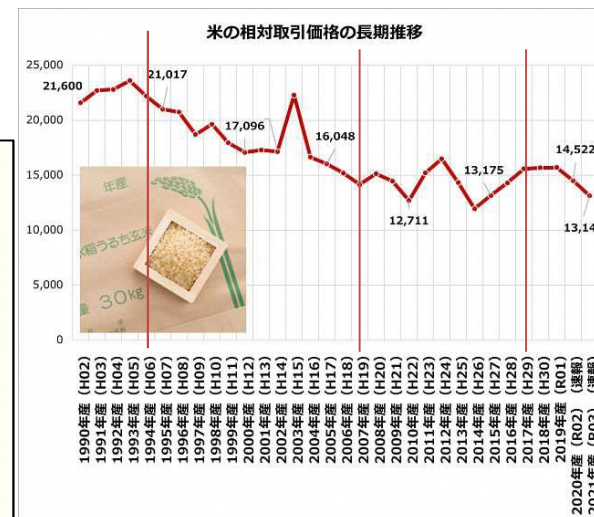
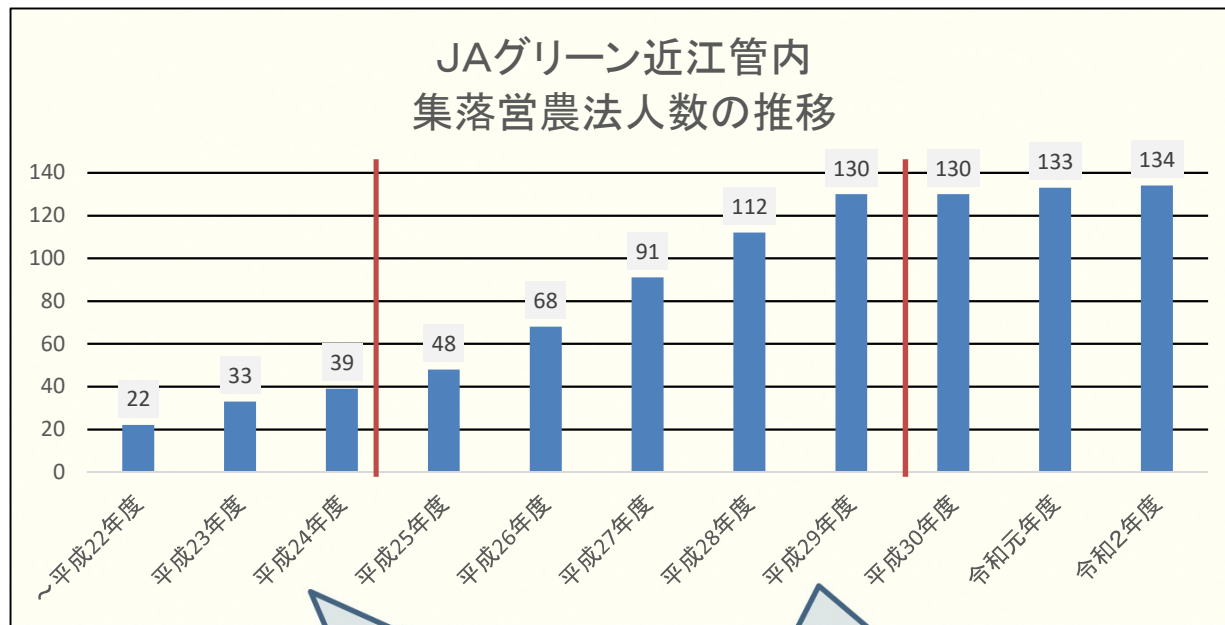
滋賀県

JAグリーン近江地域

集落営農の設立について



集落営農政策と集落営農法人数



集落営農の法人化とは

政策対応

個人を守るための有限責任化

資産の組織所有

信用力対策

平成19年の品目横断的経営安定対策における担い手としての集落営農組織の法人化要件(5年間)によって、要件内に法人化した集落

その後の延長措置(5年間)で、いわゆる農村集落のほぼすべての集落営農組織が法人化

集落営農後継者対策



イメージキャラクター
よりどりちゃん・みどりちゃん



自助、共助、公助

- 目標、計画を作ろう
- 解決するまで言い続ける、行動し続けることが大事
- どうしても解決できないことはJAや行政と

自分たちを知ってもらう

- 地域のお祭り、法人の収穫祭などイベントはチャンス
- 法人の情報紙などを積極的に発信
- 新興住宅との関係づくりも大事（自治会などとも協力）

雰囲気づくり

- 時に強引さも必要
- 農作業が好きな人も苦手な人もいる
- 若者だけである品目も作付けさせてみる
- いつでもニコニコ現金払いもあり

グリーン近江管内集落営農法人の事例



農事組合法人 S

《経営の特色》

23戸 24.6ha 一集落一農場

全農家全区民参加の経営「自らやれることは、やる。」

30代を中心に「青年会」を結成



農事組合法人 F

《経営の特色》

24戸 41.7ha 転作メイン→野菜・果樹栽培に取り組む

自治会活動や集落づくりに法人として参加

地域の祭りに出店し、アルバイト募集活動



農事組合法人 W

《経営の特色》

6戸 9.3ha 26年に農家が半減→法人化

40代組合員を中心に交友関係を利用した勧誘

地元企業の海外研修生を活用。村の祭事等にも参加。

グリーン近江管内集落営農法人の事例



農事組合法人 A

《経営の特色》

77戸 58.8ha 一集落一農場

一か月前から出役可能日を調査（出役は半日単位）

法人情報紙を毎月2回発行



農事組合法人 E

《経営の特色》

24戸 33.3ha 一集落一農場

組合員全員出役の方針

30代の女性が参加→機械オペもできるように

同年代の男性陣も作業従事



農事組合法人 I

《経営の特色》

215戸 389.4ha 8集落1農場

雇用人件費に6,000万



集落営農組織、法人への支援



イメージキャラクター
よりどりちゃん・みどりちゃん

集落営農後継者対策支援



法人構成員農家
自らが地域の若
者に営農指導を
する取り組みに支
援。
指導された若者が
免許取得する場
合の費用も支援。

経営コンサルティング



日本農業新聞 令和4年6月



営農・信用部門が協力

担い手コンサル
所得増を後押し



集落営農法人の
決算書・経営内容
を細かく聞きとり、
事業間連携で
様々な改善提案

WCS
地域計画
転作面積交換
国営土地改良



集落営農による今後の活動



5年後・10年後を見据えて

集落営農、個人経営だけでは維持が難しくなる。
地域ので維持していく取り組み

地域別法人連協の
ワーキンググループ再始動

個人担い手のグループ組織
づくり

法人合併の可能性も検討

労働力確保
1日バイトアプリの活用

農地利用の効率化
農地集積の実現

集落在住者の洗い出し

◎法人、担い手組織運営支援を通じ、地域の主体的な取り組みへ

◎集落・地域の話し合いへポイントポイントで参加

◎面と向かって言いにくいことは、JAに相談



ご清聴ありがとうございました



JAグリーン近江



経営理念

私たちは人と自然とのかかわりを大切にし、
食を守り地域に愛されるJAグリーン近江をめざします。